

第69回小金井市新型コロナウイルス感染症対策本部会議録	日時	令和3年4月27日(火) 9:17~10:07	場所	議場
出席者	西岡市長、住野副市長、大熊教育長、天野企画財政部長、加藤総務部長、西田市民部長、柿崎環境部長、中谷福祉保健部長、若藤都市整備部長、大津学校教育部長、藤本生涯学習部長、北村議会事務局長、高橋庁舎建設等担当部長、大澤子ども家庭部長、宮奈地域安全課長、石原新型コロナウイルス感染症対策担当課長、穂山地域安全係長、東條企画政策係長、健康課主任			
付議事項	<ol style="list-style-type: none"> 1 緊急事態宣言発令及びワクチン接種の開始に際しメッセージ 2 緊急事態宣言への対応について(各部報告) 3 ワクチン接種について 4 各部連絡事項 			
資料	<ul style="list-style-type: none"> ・3度目の緊急事態宣言発令及びワクチン接種の開始に際して ・新型コロナウイルス感染拡大防止のための東京都における緊急事態措置等 ・緊急事態宣言の発令による市施設の臨時休館等の対応について ・緊急事態宣言下における新型コロナウイルス感染症対策の一層の徹底について ・学校施設設備の目的外利用について ・ワクチンについて4/23、4/26に健康課に問合せのあった内容 ・新型コロナウイルスワクチン接種についての要望書 			
<p>(進行：福祉保健部長)</p> <p>1 緊急事態宣言発令及びワクチン接種の開始に際しメッセージ</p> <p>(市長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4月25日から5月11日まで緊急事態宣言が発令され、東京都からも緊急事態措置が発出された。 ・変異株は感染力が従来のものに比べ1.3倍~1.5倍とも言われ、若い世代も感染が増えている。 ・ゴールデンウィークを含む短期集中的に人流を抑制していきたい。市民の皆さんへも不要不急の外出を控えていただくよう防災行政無線等で随時発信していく。 ・高齢者向けのワクチン接種の予約が4月23日からスタートした。医療従事者向けのワクチン接種は4月11日からスタートしている。接種状況については土日を除く毎日ホームページに掲載している。集計や掲載作業等、業務量の負荷が生じているが、情報発信は大切であるため、協力してほしい。 ・5月10日から5月31日に接種するワクチンは、1万回分を確保しており、コールセンターへの電話予約、ネット予約、各医療機関で予約が可能であるが、予約受付初日である4月23日はコールセンターへ電話が殺到し、電話が繋がらなかったため、来庁された方も多かった。夜間窓口や休日の大代表電話へも問合せが多く、全庁あげて対応していただき感謝している。4月26日はシステム障害が発生し、既に復旧しているが、ツイッター等でも可 				

能な限り発信やお詫びを申し上げた。次回の予約受付開始は5月13日を予定しているが落ち着いて対応していただきたい。

- ・本市はコールセンターとネット予約に加え、市内46医療機関が対応していただけるのが強みでもあり、協力医療機関へも感謝申し上げたい。
- ・市長メッセージに公共施設の利用制限や高齢者向けワクチン接種の予約受付開始、医療従事者向けワクチン接種の開始を盛り込み、本日付で掲載する。最大限の感染予防に努めてまいりたい。
- ・公共施設は図書館本館を除く全て閉館しているが、昨日市内公共施設の状況をわかりやすくまとめていただき感謝している。
- ・ワクチン接種は、医療従事者、高齢者と進んでいるが、健康課の新型コロナワクチン担当の8名の希望者についても業務を遅滞なく進めるべく感染防止は不可欠であるため、ワクチン先行接種をお願いしたい。

(石原新型コロナウイルス感染症対策担当課長(以下、「石原コロナ対策担当課長」という。))

- ・市長メッセージに何かあれば連絡してほしい。

2 緊急事態宣言への対応について(各部報告)

(藤本生涯学習部長)

- ・公共施設について。4月23日の本部部会でも話したが、4月23日午後8時に緊急事態宣言が発令され、東京都の緊急事態措置でも、新型インフルエンザ等対策特別措置法第45条第1項に基づき、医療機関への通院、食料・医薬品・生活必需品の買い出し、必要な職場への出勤、屋外での運動や散歩など、生活や健康の維持のために必要な場合を除き、原則として外出しないこと等を要請している。これを受けて5月11日まで市公共施設を休館にした。図書館本館のみ感染対策を徹底して開館している。

(西田市民部長)

- ・市内の有料の公共施設については、前回の緊急事態宣言以降、料金を当日払いにしたため、今回の緊急事態宣言に伴う休館による返金は基本的には生じない。ただ宮地楽器ホールのみは前金もあるため返金対応が必要であり、現在、コミュニティ文化課にて対応を検討中。

(大津学校教育部長)

- ・学務課と指導室から各学校へ文書を出しているが、これは東京都からの依頼文を受けての対応であり、具体的には「授業終了後は速やかに帰宅する」、「部活動を中止する」、「不要不急の外出は避ける」等を示している。

(藤本生涯学習部長)

- ・緊急事態宣言に伴う都教委の方針を受け、市教委では緊急事態宣言の解除まで部外者の来校を控えるよう示しており、校庭開放事業を中止した。

(大熊教育長)

- ・各学校への文書は東京都による都立学校への対応を受けて決めたものである。

(大澤子ども家庭部長)

- ・子ども家庭部は厚生労働省から通常通りの対応と連絡を受けており、保育園、学童保育もいつも通りの開園となっている。児童館についても1か所を除きいつも通りの午後5時までである。週1回午後8時まで開館していた児童館2館については午後7時閉館とした。

(市長)

- ・学芸大学や市内の幼稚園も通常通りでよいか？

(大澤子ども家庭部長)

- ・いつも通りである。

(大熊教育長)

- ・緊急事態宣言解除となった際には子供の心の安定にしっかりと対応してほしい。宣言解除の際は全ての取組を再開させていきたい。

(加藤総務部長)

- ・C-navi掲載の職員出勤抑制を微調整した。職員の出勤抑制は少なくとも4月27日から5月7日としているが、緊急事態宣言に合わせて職場の判断で5月11日まで延長していただいても構わない。

(市長)

- ・臨時休館について、児童館や公園等も含めた一覧にまとめたものがあるのが望ましい。

3 ワクチン接種について

(石原コロナ対策担当課長)

- ・ワクチン接種の予約枠は10,000枠あり、うちコールセンターやネット予約等の公開枠が4,000枠あるが、4月24日に予約が埋まった。医療機関で予約のキャンセルが出た際に枠が空くこともあるが、瞬間的なものであるため、ホームページ等では予約枠は一杯と表示している。
- ・土曜日に緑センター、日曜日の休日窓口でも市民対応があり、休日窓口では3件の意見を頂戴した。
- ・ワクチンの予約システムは各自治体で共通になっている部分もあり、本市にも影響が出たしまった。
- ・コールセンターの番号の押し間違いで、他市民へつながってしまう事例があった。先方とお話して、間違い電話を減らすため高齢者が見ることが多い紙媒体での広報が必要であり、市報5月15日号に掲載する予定である。

(中谷福祉保健部長)

- ・5月10日に高齢者向けワクチン接種がスタートするが、今のところ、報道されている自治体ほどの混乱ではないと認識している。

(市長)

- ・健康課の新型コロナワクチン担当の8名についてのワクチン先行接種は、医師会からも求

められている。

- ・5月13日までにキャンセルや枠が空くことも想定される。市長からのメッセージにも載せたが、随時コールセンターへ問合せしていただければと思う。まだワクチン接種は動き出したばかりでいろいろと課題も多いが、順次改善していきたい。

(住野副市長)

- ・公明党からも要望があったが、高齢者は予約を取るのが難しいケースが多く、また、医療機関ごとに温度差があるようである。医療機関同士の温度差は医師会の範疇であり、どこまで市として対応できるかわからないが、工夫して改善につなげていきたい。

(藤本生涯学習部長)

- ・5月4日に緑センターでワクチン接種の準備をすると聞いたが、詳細を教えてください。

(石原コロナ対策担当課長)

- ・5月4日は12時から準備を始め、会場設営、事務スタッフへの説明等を行い、午後5時半から医師会理事が来て最終確認。その後原状復帰して終了という流れである。

(市長)

- ・ワクチンについて、国から毎日情報が来る。ワクチン接種の実施計画も一般フェーズに向けて必要に応じて見直しを進めてほしい。

4 各部連絡事項

(大澤子ども家庭部長)

- ・子育て世帯生活支援特別給付金は5月10日支給予定で対象は489人である。
- ・ひとり親以外の子育て世帯生活支援特別給付金は4月27日午後3時から説明会があり、6月以降、情報が分かり次第、速やかに支給していきたい。

(加藤総務部長)

- ・経済課への職員応援について。5月6月の2か月間、都市整備部から1名、総務部から1名の合計2名の応援とする。

(石原コロナ対策担当課長)

- ・10/10補助である区市町村共同事業は、自立生活支援課と介護福祉課からそれぞれ1件、健康課では日常生活支援給付事業と発熱外来事業をエントリーする。

(市長)

- ・ワクチン接種へのバス運行について、議会のスケジュールを勘案しながら、第2回補正で緊急なものがあれば事前に連絡が欲しい。

(石原コロナ対策担当課長)

- ・バス運行ルートについて、本日実走にて検証予定である。運行ダイヤグラムは市職員が作成しているが、現時点の台数では予算超過となるため、利用状況を見ながら柔軟に対応していきたいと考えている。

- ・補正予算はワクチン接種の関係で上程する可能性がある。

(中谷福祉保健部長)

- ・ワクチン接種へのバス運行について5月13日開始は困難。昨日初めて事業者と打合せを持っており、本日の実走の結果をみて開始時期を決めていきたい。

以上